

# ゼミナール決定参考資料

教員名： 長久明日香

指導教科： 国際政治経済学

## ① 研究・関心領域内容

研究・関心領域は国際政治経済学の中でも貿易問題に関する交渉や日本の対外政策決定過程です。最近の事例では、RCEP 交渉や米中間の貿易摩擦、経済安全保障に関する議論などが挙げられます。また、政策決定過程に関心がありますので、政治学や政治過程論、行政学における研究や現象にも興味を持っています。例えば、日本における官僚主導型から官邸主導型への政策決定過程の変容などです。

## ② 自己紹介<こんな学生を募集しています>

ゼミ形式の授業では、基本的に学生の方全員に毎回、1回は発言して頂く方針をとっています。単なる感想やコメントでもいいので、自分の考えをまとめて他の参加者に伝える努力をしてほしいと思います。初めから話すことが得意でなくても構いません。ゼミは、論理的に話すことで、多くの異なる意見を持つ人とコミュニケーションをとる練習の場と思って頂ければよいと思っています。

## ③ 現在の人数： 三年生 0 人 四年生 3 人

## ④ ゼミのテーマ、方針、学習・研究内容

テーマは、国際政治経済学に関連していれば、何でも取り上げます。参加者の意向を聞いて、決定します。

## ⑥ 現在のゼミの様子、雰囲気

それほど人数が多いゼミではないので、リラックスした雰囲気だと思います。学問的議論だけでなく、時事問題などについても活発に議論しています。

## ⑦ ゼミ生に希望すること

授業では、どんな発言でもフォローするので、積極的に発言し、議論を盛り上げてもらいたいと思います。

## ⑤ 授業形態(発表、討論、講義など)

毎回、最初に担当者が本や論文の概要についてレジュメに基づいて発表し、その後、全員で討論します。

## ⑧ 成績評価の方法

授業への参加、貢献度で総合的に評価します。

## ⑨ ゼミ生選考方法

面談を行って、どのような興味・関心をお持ちか伺います。

## ⑩ 最後にゼミのPRをお願いいたします!

グローバル化が進展する今日においては、国際政治経済学を学ぶことで、現在起こっている様々な出来事の原因や関連性がよくわかります。なぜ、コロナパンデミック後の国際政治経済はどうなるのか、ウクライナや中東で起こっている紛争が日本の政治経済にどのような影響を及ぼしうるのか。新聞や雑誌を読むだけでは知ることのできない根本的な原因を知るための分析枠組みを一緒に学んでいきたいと思っています。